

授業科目	科目概要・形式	配当年次	オンライン参加
質的・混合研究方法論	1 単位 15 時間(8 コマ) 講義科目	博士前期 1 年次 通年開講	<input type="checkbox"/> 可・不可
科目責任者	山崎 浩司 (非常勤・静岡社会健康医学大学院大学) (調整担当: 大西 基喜)		
担当者	八田 太一 (非常勤・静岡社会健康医学大学院大学) 山崎 浩司 (非常勤・静岡社会健康医学大学院大学)		
1. 科目のねらい・目標			
[ねらい] 保健医療研究で使える質的研究方法論と混合研究法を実践的に学びます。取り上げる質的研究方法論は修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチ (M-GTA) で、その基本特性と分析手続きを研究例も参照して解説します。混合研究法では、受講生がそれを使いこなすために必要な考え方を伝え、自身で取り組んでいる研究を素材に混合型研究をデザインする機会を設けます。			
[目 標] 1. M-GTA と混合研究法の基本的前提と手順を理解する。 2. M-GTA による研究を適切に評価できるように、他の質的研究方法論との違いを理解する。 3. 手続きダイアグラムを描くことで、自分の研究を混合型研究として説明する。			
2. 授業計画・内容			
【八田太一】(4 コマ)		【山崎浩司】(4 コマ)	
1. [4/25 4 限] 混合研究法の背景と調査研究の手続き		1. [6/21 2 限] M-GTA の方法論的特性	
2. [4/25 5 限] 混合研究法における統合とデザイン		2. [6/21 3 限] 分析焦点者と分析テーマの設定	
3. [4/25 6 限] 混合研究法における研究手続き		3. [6/21 4 限] 概念生成: 分析ワークシートの活用	
4. [7/4 6 限] 受講生による発表		4. [6/21 5 限] 概念の関係づけによる理論生成	
3. 教科書、参考書			
[質的研究方法論/M-GTA] ・木下康仁 (2020) 『定本 M-GTA』医学書院。 ・サトウタツヤ・春日秀朗・神崎真実編 (2019) 『質的研究法マッピング』新曜社。 ・クレスウェル JW・トバイアス JC (2022) 『質的研究をはじめのための 30 の基礎スキル』廣瀬真理子訳、新曜社。			
[混合研究法] ・抱井尚子 (2015) 『混合研究法入門』医学書院。 ・テッドリー C・タシャコリ A (2017) 『混合研究法の基礎』土屋敦・八田太一・藤田みさお監訳、西村書店。 ・フェッターズ MD・抱井尚子編 (2021) 『混合研究法の手引き』遠見書房。			
4. 成績評価方法			
[質的研究方法論] レポート課題 (70%)、講義内の議論参加への積極性 (30%)			
[混合研究法] 発表及び発表資料 (70%)、講義内の議論参加への積極性 (30%)			
5. 受講要件			
[質的研究方法論] 受講生は、事前に講師が提供する 2 つの論文を読んで、講義に臨んでください。			
[混合研究法] 受講生は、自身の研究課題が明確であることが望ましいです。			
6. 社会人学生に対する配慮			
【八田太一】オンライン対応、土曜日開講 【山崎浩司】ハイブリッド対応、日曜日開講			
7. その他			
[質的研究方法論] オンデマンド受講も可とします。追加のレポート課題の提出をもって出席とします。			
[混合研究法] 受講登録者が多い場合、第 4 回 (7/4) の受講生による発表は文献レビュー演習とします。			